

令和4年度「かごしま地域活性化協働推進事業」実施結果

(事業名)賞味期限間近の防災備蓄食品を活用した地域の防災訓練モデル構築事業

実施主体

(団体名)特定非営利活動法人フードバンクかごしま
(担当課名)危機管理課



背景

- ① 自治体や企業、団体が保有している災害用備蓄食品について、賞味期限が間近に迫ったものについての活用方法が確立されていない。フードバンクや子ども食堂などを通じて、いわゆる生活困窮者支援で活用されているケースもあるが、災害用備蓄食品は、非常時用の食品であり、本来の目的である防災の用途にも有効活用されることがより望ましい。
- ② 災害発生時に被災者に対して、災害用備蓄食品などが配布されるが、平時から食べ方や味について知っていなければ有事の際に積極的に活用できない。地域の防災訓練において、災害用備蓄食品の試食などを実施したり検討している地域もあるが、防災訓練実施団体(社会福祉協議会や町内会など)で予算化することが難しく、また予算を確保した場合でも新品を購入して試食するなど無駄も生じている。
- ③ これらを解決するために、自治体や企業、団体が保有している賞味期限が間近に迫った災害用備蓄食品の新しい活用方法として、地域の防災訓練において、住民に実際に使用・体験してもらうことが考えられる。

地域課題

災害用備蓄食品について、地域の防災訓練において、住民に実際に使用・体験してもらうような活用方法を提案することによって、企業や団体が賞味期限が間近に迫ったものの処理方法に悩むことなく積極的に備えることにも繋がり、活用する地域の防災訓練実施団体も災害時の「食」への備えの普及啓発に予算の心配なく取り組むことができる。

また、災害時の「食」への備えについて考えるきっかけをつくる新しい防災訓練のスタイルは、地域内の若者や子育て世帯、災害弱者など多様な主体が参加しやすくなることにも繋がり、平時から顔が見える関係づくりによる災害への備えとして防災意識を高めることができる。

事業のねらい

- ① 自治体や企業、団体に対して、賞味期限が間近に迫った災害用備蓄食品の活用方法について提案する。
- ② 地域の防災訓練において、災害時の「食」への備えの普及啓発に取り組むきっかけをつくる。
- ③ 災害用備蓄食品を活用した新しい防災訓練のスタイルにより、地域の若者や子育て世帯、災害弱者などが積極的に参加しやすいようにする。
- ④ 本事業によって取り組む災害用備蓄食品を活用した防災訓練モデルを県内の防災訓練実施団体に広く周知する。

事業概要

- 1 災害用備蓄食品を活用した防災訓練のための調査・準備
 - ・自治体や企業、団体に対して賞味期限が間近に迫った災害用備蓄食品の活用方法について説明し、食品を寄贈してもらう。
 - ・災害用備蓄食品を活用した防災訓練が行えるよう事業実施地域の各関連機関と協働できるよう調査し体制をつくる
- 2 災害用備蓄食品を活用した防災訓練の実施
 - ・実施場所：鹿児島地区(桜島改新地区)、始良地区
 - ・内容：防災訓練と災害用備蓄食品の使い方のシミュレーションや試食等を工夫して実施し、災害時の「食」への備えについて学ぶ
- 3 災害用備蓄食品を活用した防災訓練モデルの普及啓発
 - ・防災訓練モデルの啓発用のチラシやWebページなどを作成し鹿児島県内の各関連機関に配布し広く周知する。
 - ・災害用備蓄食品を活用した防災訓練モデルについて、防災訓練実施団体に対して、オンラインセミナーを開催する。

防災備蓄食品を活用した
地域防災訓練

2023
1/28
参加費無料

＜場所＞改心交流センター
＜時間＞11:00～13:00
集合は 10:50 にお願いたします

● 災害支援の現場から (講演)
● 防災備蓄食品の試食体験

※11時からスタートいたしますので、10時50分までに交流センターにお越しください。
※、新型コロナウイルスの対策として、ご参加いただく場合はマスクの着用をお願いします。

【主 催】 鹿児島県防災訓練実行委員会(事務局) 鹿児島県危機管理課(事務局) 鹿児島県防災訓練実行委員会
【協 賛】 NPO法人アール・ピー・エス(事務局) 鹿児島県(事務局) 090-4803-4365

成 果

- 1 災害用備蓄食品を活用した防災訓練を2回実施(始良地区及び改新地区)。災害についての講座や災害用備蓄食品の試食会等を実施。参加者に災害時の「食」への備えについて、学んでもらった。
- 2 防災備蓄食品を活用した地域防災訓練事業意見交換会(オンラインセミナー)を開催。本事業で実施した災害用備蓄食品を活用した防災訓練について、実施内容の報告、訓練の意義、訓練のやり方について説明。参加者に新しい防災訓練モデルとして周知した。

あなたの地域のどこかに、
防災備蓄食品が眠っていませんか？

非常食などを
防災訓練で活用して
地域防災力を
高めましょう！

地域防災訓練のご案内

鹿児島県危機管理課(事務局) 鹿児島県危機管理課(事務局) 鹿児島県防災訓練実行委員会(事務局) 鹿児島県防災訓練実行委員会(事務局)

【主 催】 鹿児島県防災訓練実行委員会(事務局) 鹿児島県危機管理課(事務局) 鹿児島県防災訓練実行委員会(事務局) 鹿児島県防災訓練実行委員会(事務局)

【協 賛】 NPO法人アール・ピー・エス(事務局) 鹿児島県(事務局) 090-4803-4365

協働の状況

(統括責任者)
フードバンクかごしま

(進捗管理, 助言, 自治体との連絡調整)
危機管理課

(防災訓練協力機関)
始良市社会福祉協議会, 改新地区コミュニティ協議会

今後の取組

- フードバンクかごしまでは, 今後, チラシやHPに本事業での取組事例を掲載し, 周知するとともに, 自治体等から訓練実施に伴う備蓄食品の提供依頼や講師依頼があれば適宜協力する。
- 県は, 自治体等へ本事業での訓練事例などの情報提供を行う。



協働事業の感想

団体からの声

今回の取組について, 多くの皆様から高評価を得ることができたことは大変うれしく思っている。
今後も県内の防災力向上のために尽力していきたいと思う。

担当課からの声

新しい防災訓練のモデルとして, 賞味期限の近い防災備蓄食品を活用することは, 訓練に参加された方々の防災意識の向上と食品ロス削減に繋がると考えられる。
今後も関係機関へ情報提供等行っていきたい。